

9月30日(木)／グリーンカーテンフォトコンテスト
グリーンカーテンで地球温暖化対策に貢献

家庭や事業所でチャレンジしていただいたグリーンカーテンの写真で、「令和3年度グリーンカーテンフォトコンテスト」を開催し、素晴らしい作品が多数寄せられました。入賞者の皆様と最優秀賞作品を紹介させていただきます。また、すべての作品を町ホームページに掲載していますので、ぜひご覧ください。

環境課

※作品紹介ページ



受賞者（敬称略）

家庭部門	最優秀賞	遠藤 栄
	優秀賞	杉田 徳子
団体部門	最優秀賞	杉戸町立杉戸第二小学校
	優秀賞	杉戸町立高野台保育園
	優秀賞	高野台放課後児童クラブ



家庭部門 最優秀賞



団体部門 最優秀賞



力強く咲き続ける

10月3日(日)／杉戸町内（大字堤根）



今年6月に堤根地内の庭に植えてあったソテツが花を咲かせました。約3か月経った今も変わらず花を咲かせています。ソテツの花は、10～15年に一度しか咲かない花で、非常に珍しいそうです。また、ソテツの花言葉は「雄々しい」。勇ましさや力強さを感じさせる花言葉がついたとされています。（広報特派員 木村 沙織）

美しい「舞」が輝きをはなつ

9月7日(火)／大栄団地（大字下高野）

大栄団地在住の大島さんが撮影した写真が第38回県写真サロン（全日写連県本部・朝日新聞社主催、アスカネット協賛）において優秀賞を受賞しました。写真のタイトルは「舞」。美しいバレリーナの一瞬を撮影した写真です。

大島さんは、子どもの頃に写真に興味を持ち、本格的に初めて30年が経つそうです。また、体操選手としてローマ世界体操競技選手権大会に出場されたこともあるそうです。現在90歳ですが、生涯現役で活躍されています。これからどんな写真を撮影されるのかとても楽しみです。（広報特派員 渡辺 光子）



夕方にだけ咲く白い花

10月4日(月)／杉戸町内（大字茨島）

夕方、こんもりした木に、白鷺がたくさん止まっていた。遠くから見るとまるで白い花がたくさん咲いているかのような様子で珍しい風景が見られました。（広報特派員 渡辺 光子）



河津桜が、季節外れの開花！

9月24日(金)／杉戸町内（大字才羽）

才羽の木村さん宅で、季節外れの河津桜が、10輪ほど咲いていました。一般的には2月から3月頃に開花する河津桜。ご近所の方からは、「珍しい」と声を掛けられているそうです。いつもと違う季節に桜を見ることができて、なんだか嬉しいですね。

（広報特派員 坂本 吉江）



9月29日(水)／ワクチン集団接種会場備品寄付
接種会場の運営のために寄付をいただきました

杉戸ロータリークラブ様より、新型コロナワクチン集団接種の円滑な運営のため、会場で使用するテント及び保管用冷蔵庫の寄付をいただきました。

健康支援課



（写真左から）田中様、渡辺様、古谷町長、宮田会長、大作幹事

古谷町長コメント：大変ありがたく、接種会場内で有効に活用をさせていただきます。 （※写真撮影時のみ、マスクを外しました。）

9月30日(木)／GLP投資法人と協定締結
水害発生時における施設等の提供協力

この協定締結は、大規模な水害が発生した場合、GLP投資法人様が保有する施設を一時避難所として避難者を受け入れる施設提供を目的とした協定を締結しました。この協定により、町民生活の安心・安全を確保し、町の防災力の向上にもつながります。

くらし安全課



受け入れ施設：GLP 杉戸Ⅱ（大字深輪398-2）

町長コメント：水害発生後の避難所開設にあたり、避難者の受け入れをいただけることは、大変、心強く感じています。

10月8日(金)／ヤングケアラーサポートクラス
ヤングケアラーについて理解を深める

杉戸中学校（内田1丁目）にて、県教育委員会によるヤングケアラーサポートクラスが、3年生を対象に実施されました。この講演会は、専門家や当事者による講演や対話を通じて、ヤングケアラー（18歳未満の介護者等）の実態を知ってもらうことを目的として実施されました。

学校教育課



元ヤングケアラーによる講演会と生徒とのディスカッションを実施し、ヤングケアラーに対する理解を深めました。

9月14日(火)／子育て応援フードパントリーへ寄付
子育てを応援します

子育て応援フードパントリーのPR活動を受けた杉戸町商工会女性部様から、部員へ声掛けをして集めた食料品の寄付をいただきました。

商工観光課・福祉課・子育て支援課



（写真左から）古谷町長、杉戸町商工会女性部 宮田部長、すぎと居場所づくり応援隊 寺田代表 町を通じて町内の希望するひとり親家庭に食料品を無料で配布する活動を行う、すぎと居場所づくり応援隊に対して寄付されました。（※写真撮影時のみ、マスクを外しました。）

9月15日(水)／防災教育
防災意識を向上させよう

泉小学校（大字宮前）4年1組の児童を対象に、防災倉庫内に備蓄している防災機材や洪水ハザードマップを活用した講習会を実施しました。避難所で利用する資機材の体験や防災倉庫も見学しました。

くらし安全課



参加した児童たちは、熱心に説明を聞き、いざという時のために備えました。

9月21日(火)／春日部青年会議所と協定締結
災害ボランティアセンターの運営を支援します

大規模災害発生時に設置される災害ボランティアセンターの運営等について、春日部青年会議所と杉戸町社会福祉協議会が協定を締結しました。

杉戸町社会福祉協議会



（写真左から）本田理事長、古谷町長（社会福祉協議会会長） 災害ボランティア活動を通じて被災者支援を進めます。（※写真撮影時のみ、マスクを外しました。）